



2019年10月

- [Cisco Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [新機能 : 2019年10月 \(2 ページ\)](#)
- [機能強化 : 2019年10月 \(3 ページ\)](#)
- [不具合 \(3 ページ\)](#)

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、既存の Wi-Fi インフラストラクチャを活用して実用的な情報を提供し、ビジネスの成果を促進するロケーションプラットフォームです。物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャネルエンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- Cisco Spaces ダッシュボードメニューはデフォルトで折りたたまれています。
- ソーシャル認証 (ランタイム) を介してのすべての公開ユーザー情報の取得に対応しています。
- 行動メトリクスで、ワークスペース分野の指標計算が強化され、より正確な従業員数と訪問者数が表示されるようになりました。
- Cisco Spaces サポートへのリンクを含む新しいサポートアイコンが Cisco Spaces ダッシュボードに追加され、既存のチャットオプションが削除されました。
- パートナーアプリが Cisco Spaces ダッシュボードで利用できるようになりました。
- パートナーアプリの [Client ID] フィールドが強化され、パートナーが編集できるようになりました。

新機能：2019年10月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

ダッシュボード表示の変更

Cisco Spaces ダッシュボードは、ユーザーが選択した場合にのみメニューを表示するように変更されています。ログイン後、ダッシュボードにはデジタル化ステータスとアプリを含む単一のペインが表示されるようになりました。Cisco Spaces ダッシュボードの左上に3行のメニューアイコンが表示され、これを使用して Cisco Spaces メニューにアクセスできます。メニュー項目を選択すると、メニューが非表示になり、選択したメニュー項目に対応するウィンドウのみが表示されます。以前は、メニューは常にダッシュボードの左側の別のペインに表示されていました。

パートナーアプリ

Cisco Spaces パートナーダッシュボードと統合されたパートナーアプリは、Cisco Spaces ダッシュボードで利用できるようになりました。アプリは、[Extend] というタイトルで利用可能な [Extended Partner Apps] からアクセスできます。アプリは、内部で割り当てられたオーダー ID に基づいて表示されます。アプリを所有するパートナーの承認を得て、アプリをダウンロードして使用することができます。

Cisco Spaces Support アイコン

Cisco Spaces のドキュメントとサポートへのリンクを提供する新しい [Cisco Spaces ダッシュボード Support] アイコンが、Cisco Spaces ダッシュボードの右上に表示されるようになりました。このアイコンをクリックすると、次のメニュー項目が表示されます。

- [Help Center] : Cisco Spaces の記事へのリンク。
- [Documentation] : cisco.com の Cisco Spaces ドキュメントへのリンク。
- [Support] : Cisco Spaces サポートページへのリンク。このサポートページには、Cisco Spaces サポートチームに連絡するための電話番号と電子メールアドレスが含まれています。また、TAC チケットを提出する規定もあります。

Cisco Spaces ダッシュボードの右下に表示されていたチャットアイコンが削除されました。上記の TAC サポートリンクを使用して、Cisco Spaces サポートチームとさらに連絡を取り合うことができます。

機能強化：2019年10月

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の変更が加えられました。

パートナーダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードが拡張され、パートナーが [App Title] タブの [Client ID] フィールドを編集できるようになりました。以前は編集できず、「DNASpaces」として設定されていました。

行動メトリクス

Workspaces 分野の行動メトリクスを計算するアルゴリズムが強化されました。これで、従業員/ゲストの識別は、ユーザーのデバイスが接続されている SSID に依存するようになりました。ゲスト SSID は、Cisco Spaces で設定する必要があります。現在、ゲスト SSID を設定するためのダッシュボードはサポートしていません。ゲスト SSID の設定については、Cisco Spaces サポートチームにお問い合わせください。

不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、x は任意の文字 (a ~ z)、N は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決のバグ

表 1: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvr21932	RBAC : V3 SNMP バージョンを使用してコントローラを作成できない (コントローラの作成に失敗)
CSCvq83680	RBAC : 特定の場所にアクセスできる管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCvq24076	Right Now : ロケーション階層を変更すると、既存の関連するカウンタがクリアされない。
CSCvp57525	ロケーション分析 : 滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している

修正されたバグ

表 2: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvr70362	Generic - CMX Manual Upload : ユーザーはサンプル curl コマンドで MSE テキストを表示できる
CSCvr70310	一般的な問題 : ユーザーはロケーション階層ページのテキストをコピーできない
CSCvq41890	RBAC : ACM ユーザーにログインすると、最初に CP にリダイレクトされ、次に ACM ページが表示される
CSCvq79930	RBAC : トークンの有効期限が切れている場合、アクティベーションリンクをクリックすると、「ユーザーをアクティベートできませんでした」がスローされる。
CSCvq99869	ポータル : アセットを含むポータルをコピーすると、新しく作成されたポータルにアセットが追加されない。
CSCvr31508	セットアップページ : 読み取り専用ユーザーは、Edge ブラウザで Spaces コネクタの新しいトークンを作成できる
CSCvp96608	セットアップ ウィジェット インポート コントローラの数 が Spaces コネクタに対して正しくない。
CSCvq31873	LIVE : Webex チームの URL オプションとエンゲージメントルールのメールオプションを取得できない

CDETS ID 番号	説明
CSCvr48736	データキャプチャ：携帯電話番号のデフォルトの国コードドロップダウンに別の国名が表示される
CSCvq83686	広告ブロッカーが有効になっていると、ダッシュボードを起動できない。
CSCvr12826	ダッシュボードにログインできず、タイプエラーがスローされ、大文字は機能していない。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。